

基本目標評価調書【案】

基本目標	2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
------	------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	県民誰もが、年齢、体力、技術、適正、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みが進んでいます
施策の展開	1 ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進 2 スポーツにおける安全の確保

■ 評価

1 施策の達成状況

(1)測定指標の進捗状況

	指標名	単位	基準値	H26年度		H27年度		H28年度	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値	目安値	実績値	目安値		
進捗状況	運動・スポーツ実施率	%	48.3 (H24実績)	54.9	47.4	58.2	45.1	61.6	65.0	努力を要する
	週1回以上実施									
	週3回以上実施									
	1年に一度もしない	10.3	6.1	11.6	4.0	11.8	1.9	0に近づける	努力を要する	
	障がい者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数	人	14,731 (H23実績)	16,194	15,629	16,694	16,040	17,209	17,700	努力を要する

(2)取組の主な成果の状況(27年度実績)

○県主催スポーツイベント・信州チャレンジスポーツDAY2015及び地域版の実施により、県民のスポーツ参加意識の向上を図った。

○総合型地域スポーツクラブの育成、安定運営の支援のため、連絡協議会やクラブへの指導者派遣、アシスタントマネージャー講習会等を実施した。

○県体育センターにおいて、幼児や高齢者の運動プログラムやスポーツ推進委員のための研修講座等を実施し、スポーツ指導者の育成を図った。

○ホームページ「障がい者スポーツナビ」やメルマガ等を通じて積極的に広報を行った結果、地区及び県障がい者スポーツ大会、車いすマラソン大会、障がい者スキー大会等、各種スポーツ大会には3,852人の参加があった。

○長野県障がい者福祉センター(サンアップル)における、各種障がい者スポーツ教室、イベントには12,044人が、また、長野県障がい者スポーツ協会における、障がいのある子どもを対象にしたプロスポーツ選手との体験教室やダンス教室等には144人がそれぞれ参加した。(健康福祉部)

○ホームページ等の広報媒体を通じ、各種スポーツ大会や団体等の情報発信を行った。

2 課題と今後の取組方針

【課題】

○運動・スポーツ実施率については、全国的に低下傾向にある。全国平均40.4%(H27)を上回っているものの、2年連続の減少である。1年間まったくしない人の割合については、3年連続11.6～11.8%となっている。運動・スポーツを行わなかった理由は「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」(42.6%)次いで「年をとったから」(34.0%)、「体が弱いから」(22.5%)、「運動・スポーツが好きではないから」(10.5%)などである。全くしない割合をゼロに近づけるためにスポーツ無関心層へのアプローチが必要であると考えられる。

○「信州チャレンジスポーツDAY2015」は、県大会参加者のべ5,004人(前年4,525人)地域版県下20会場にて5,399人(前年3,222人)が参加したが、「する」「みる」「支える」スポーツのきっかけづくりとしては、参加者数の多かった集団リレーの引率(観戦)保護者に対する体験種目への誘導や、スポーツボランティアの公募等による更なる広がり、深まりが課題である。

【今後の取組方針】

○1年間に全くしない人の割合をゼロに近づけるために、スポーツ無関心層へのアプローチとして「新たなプラットフォーム形成支援事業」を実施する。

○県経営者協会、県レクリエーション協会との連携により「職場におけるレクリエーション」の普及＝「業間体操の実施」「スポーツのためのノー残業DAY」などの推奨や、健康づくりのために「徒歩通勤」「階段の使用」の推奨など、運動・スポーツの実施に関係する部局との連携を強化しながら、特に実施率の低い「働き盛り世代」に対して啓発、奨励していく。

○県主催イベント「信州チャレンジスポーツDAY」において、大会趣旨からスポーツに親しむきっかけづくりとして「体験教室」の充実と健康づくりの観点から県の施策「ACEプロジェクト」と関連したイベント内容の充実を図るとともに、種目別プログラムの配布による「空き時間の有効利用」「体験教室」への誘導を図る。スタンプラリーカードの配布、景品交換所を各種目受付で実施する等、より多くの種目に参加させる工夫を図る。

○障がい者の自発的なスポーツ活動を促すとともに、障がい者スポーツに対する県民の理解を促進するため、積極的に障がい者スポーツを広報する。長野県障がい者スポーツ協会や長野県レクリエーション協会等と連携し、体験教室等を実施する。(健康福祉部)

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

運動・スポーツの実施状況 (平成27年度県政モニターアンケート調査)

1 調査の概要

- ①調査時期 平成28年(2016年)1月28日(木)～2月12日(金)
- ②調査対象 県政モニター1,200人を対象に実施し、845人(70.4%)から回答を得た。

2 結果

問い) あなたは過去1年間に運動・スポーツを何日ぐらい行ないましたか。

	n= 845	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H26年度 n= 844	
				回答数(人)	割合(%)
ほとんど毎日		90	10.7%	86	10.2%
週に3～4日		126	14.9%	136	16.1%
週に1～2日		165	19.5%	178	21.1%
月に1～3日		161	19.1%	150	17.8%
3か月に1～2日		77	9.1%	92	10.9%
年に1～3日		106	12.5%	84	10.0%
行なっていない		100	11.8%	98	11.6%
わからない		9	1.1%	12	1.4%
無回答		11	1.3%	8	0.9%

○週1回以上運動・スポーツを行っている人は男性より女性が多い。世代別では70歳以上が58.0%と最も多く、最も少ない30歳代の29.4%を大幅に上回った。

